

整理番号	2021M-	099	補助事業者名	地方独立行政法人山口県産業技術センター	事業項目名	万能材料試験機
------	--------	-----	--------	---------------------	-------	---------

別紙 JKA補助事業 2021年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2022	年	3	月	16	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者(ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	機器仕様の検討・決定にやや時間を要したが、その後の機種選定委員会、制限付き一般競争入札等を順調に行い、予定どおり令和4年2月に万能材料試験機を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、依頼試験等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定どおり令和4年2月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。			4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和4年2月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定どおり令和4年2月に導入(納入・検収)できた。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 49時間/月 2: 100%[満足及びほぼ満足が4社(調査数4社)]	[達成状況] 1: 124% 2: 125%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分あったと考える。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 227部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 151% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを227部配布した。技術相談室受付や導入機器に関連する研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの最新情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
	競争・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 227部 2: 4箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 151% 2: 133% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、227部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している2部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計4箇所へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの最新情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の体制	令和4年3月16日に評価委員会(企業支援部長ほか8名で構成。委員長は企業支援部長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。				4

(b) 総合評価

総合評価点	4
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	既設機器は老朽化で不具合が多発し、企業支援業務に支障を来している状況であった。整備機器要望に関する地域企業へのアンケートでは、更新希望企業が多く、これまでの利用実績においても利用時間の多い機器であったことなど、地域企業のニーズに合った機器を導入できたと考えている。コロナ禍にも拘わらず想定以上の利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定どおりの利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	導入した機器は、引張や圧縮等の強度試験において、より高速でのデータのサンプリングが可能となることから、破断時の急激な試験力の変化を高精度に捉えることができ、特に鋳鉄やセラミックス等の脆性材料においてより高精度な評価が可能となった。加えて、前方開放型により、大量の試験片のより効率的かつ安全な試験が実現することで、利用者の負担を減らし、短時間で結果を得ることができるなど、試験精度と業務効率化を求める企業ニーズに応えることができ、より効率的・効果的な試験評価環境が提供でき、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

整理番号	2021M-	099	補助事業者名	地方独立行政法人山口県 産業技術センター	事業項目名	質量分析装置付熱分析装置
------	--------	-----	--------	-------------------------	-------	--------------

別紙 JKA補助事業 2021年度 事前計画／自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2022	年	3	月	16	日	作成者	稲田和典
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	機器仕様の検討・決定に時間を要したが、その後、機種選定委員会、制限付き一般競争入札等を行い、予定よりやや早く令和4年1月に質量分析装置付熱分析装置を導入することができた。導入後は、関係職員向けのトレーニングを行い、当センターの開放機器利用システムに登録を行い、技術相談、開放機器、依頼試験等の支援サービスを開始した。ホームページへの掲載やリーフレット作成配布等で機器紹介を行い広報に努めた。利用者に対してはアンケート調査を行い、満足度や要望等の把握を行っている。				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	入札、契約等を行い、予定よりやや早く令和4年1月に導入することができた。計画どおり、開放機器等の支援サービスが開始できており、実施計画・体制は妥当であった。			4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 令和4年2月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 予定よりやや早く令和4年1月に導入(納入・検取)できた。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 1: 27時間/月 2: 100%[満足及びほぼ満足が7社(調査数7社)]	[達成状況] 1: 109% 2: 125%	[具体的内容] 1: 利用時間は目標を超えることができた。 2: 利用者の満足度は目標値を超えており、地域企業への波及効果は十分あったと考える。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1: 227部 2: 1回 3: 3回	[達成状況] 1: 151% 2: 100% 3: 100%	[具体的内容] 1: 機器紹介のリーフレットを227部配布した。技術相談室受付や導入機器に関連する研究会等で配布し、受益者である地域の企業等へ周知ができた。 2: 導入時に、当センター職員に対し電子メールによる機器案内及び機器説明会を実施した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
	競争・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1: 227部 2: 4箇所 3: 3回	[達成状況] 1: 151% 2: 133% 3: 100%	[具体的内容] 1: 当センターで刊行しているリーフレットにJKAのマークとオートレースの補助事業を受けて導入したものである旨を記載し、227部配布した。 2: JKAのポスターを補助対象機器を設置している2部屋入口、玄関ロビー1箇所、技術相談室受付付近1箇所の計4箇所へ掲示した。 3: JKA補助対象機器専用ページの作成、HPの新着情報への掲載、HPの開放機器ページへの掲載。	5
(5) 自己評価の体制	令和4年3月16日に評価委員会(企業支援部長ほか8名で構成。委員長は企業支援部長)を開催し、成果の目標、達成状況等について評価を行った。(評価過程の記録として議事録を添付する。)評価結果は当センターHPに掲載予定である。				4

(b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	導入した機器の類似機器である熱分析装置やガスクロマトグラフ質量分析装置を有していたが、熱分析とガス質量分析を同時に行うことができないため、近年の地域企業からの測定ニーズ(製品の付着物・洗浄状態の分析、半導体部品の脱ガス分析、腐食成分(塩素、SOx、NOx、H2S)分析、RoHS指令規制物質の分析、機械油劣化状態分析、無機化合物の分析、廃棄物中の有害成分分析等)に十分には応えられず企業支援業務に支障を来している状況であった。また、整備機器要望に関する地域企業へのアンケートでも、導入希望企業が多いなど、地域企業のニーズに合った機器を導入してきたと考えている。コロナ禍にも拘わらず想定をやや上回る利用状況であり、地域の機械振興に資する効果が高いと考えている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	【優れている点】要望申請に先立ってアンケート調査、企業ヒアリング等を行い、県内企業のニーズを把握した上で必要性の高い機器を導入している。導入後は情報発信を積極的に行うなど、機器利用に努め、県内企業における地域イノベーション及びものづくり技術の高度化・ブランド化、技術課題解決の達成に寄与している。 【課題・改善すべき点】導入も順調に進み、導入後も、想定どおりの利用状況であり、特に課題や改善すべき点は見当たらないが、引き続き、利用の増加や運用の改善に努める。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	導入した機器は、熱分析とガス質量分析が同時にできることから、温度変化による重量変化時の発生ガス成分をリアルタイムで測定可能となることや高温部で発生するガス成分の質量分析が可能となる等、これまでできなかった測定が可能となることから、より高度な試験評価環境を提供できるようになり、県内企業のイノベーションの創出やものづくり技術の高度化等に大きく寄与できる。

【公設[機械設備]